

# Linksys®

セットアップガイド  
(日本)

Linksys(リンクシス)  
E7350 を PPPoE/  
ブリッジ(アクセスポイント)/  
DHCP 接続でセットアップ  
する方法

Linksys EasyMesh  
AX1800 デュアルバンド  
ギガビット WiFi 6 ルーター

モデル E7350-JP

## 目次

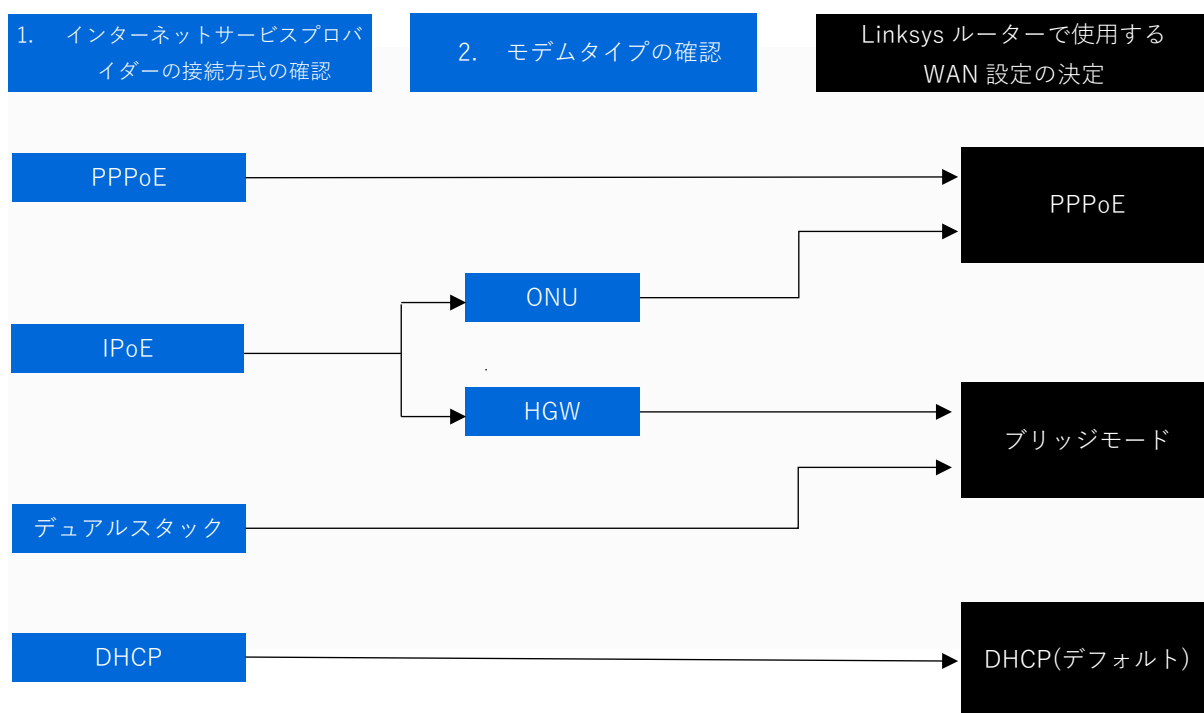
<b>ネットワークでのルーターの接続方式を決定する.....</b>	<b>3</b>
<b>Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを親ノードとしてセットアップす.....</b>	<b>4</b>
Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを PPPoE 接続でセットアップする.....	4
Linksys E7350 WiFi 6 ルーターをブリッジ(アクセスポイント)モードでセットアップする.....	12
Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを DHCP(デフォルト)モードでセットアップする.....	19
<b>Linksys サポートの連絡先情報.....</b>	<b>27</b>

## ネットワークでのルーターの接続方式を決定する

ここで選択する、ルーターの接続方式は、具体的なニーズやネットワークプロバイダーの要求によって変わってきます。

Linksys ルーターをセットアップする前に、以下の点をご利用のサービスプロバイダーに確認することをおすすめします。

1. サービスプロバイダーが要求しているネットワーク接続方式:  
PPPoE、IPoE、デュアルスタック、DHCP
2. IPoE 接続の場合は、提供されているモデムのタイプ:  
光回線終端装置(ONU)、ホームゲートウェイ(HGW).



Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを親ノードとして **PPPoE 接続**でセットアップする場合は、こちら(4 ページ)をご覧ください。

Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを親ノードとして**ブリッジ(アクセスポイント)モード**でセットアップする場合は、こちら(12 ページ)をご覧ください。

Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを親ノードとして **DHCP(デフォルト)モード**でセットアップする場合は、こちら(19 ページ)をご覧ください。

## Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを親ノードとして PPPoE 接続でセットアップする

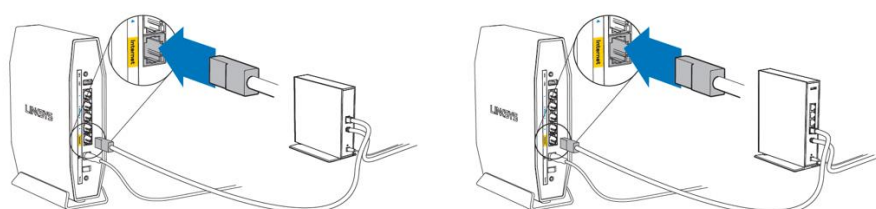
ここでは、Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを親ノードとしてセットアップして構成する方法を説明します。

始める前に:

- セットアップを初めて行う場合、組み込みのセットアップウィザードを使用して本ルーターを構成する必要があります。
- 親ノードとは、モデム(または ONU)と接続された Linksys E7350 です。
- 子ノードとは、WiFi ネットワークを拡大するために使用する追加の Linksys E7350 です。
- 本ルーターのセットアップには、コンピューター、タブレット、モバイルデバイスなどの無線デバイス、またはイーサネット(有線)接続のコンピューターのどちらでも使用できます。
- 本ルーターの底面に記載されているデフォルトの WiFi 名とパスワードをメモしておきます。
- ご利用のインターネットサービスプロバイダー(ISP)から付与されている接続 ID と接続用パスワードを手元にご用意ください。

ステップ 1:

Linksys E7350 をモデム(ONU)またはモデムルーター(HWG)と接続します(以下の図を参照)。



**A**

または

**B**

モデム(ONU)

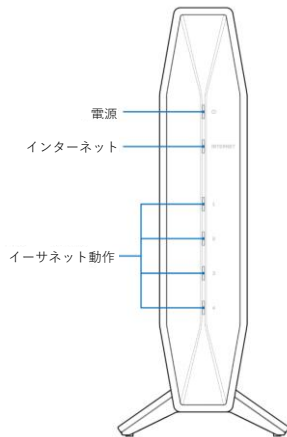
同梱されているイーサネットケーブルの片方の端を新しいルーターの黄色のイーサネットポートにつなげます。モデム(ONU)の場合は、もう一方の端をモデムの**イーサネット(LAN)**ポートにつなげます。

モデムルーター(HGW)

同梱されているイーサネットケーブルの片方の端を新しいルーターの黄色のイーサネットポートにつなげます。モデムルーター(HGW)の場合は、もう一方の端を**空いてい**

## ステップ 2:

本ルーターを電源につなぎ、電源スイッチをオンにします。電源インジケータ-LED が青色に点灯するまで待ちます。



## ステップ 3:

本ルーターのデフォルト WiFi 名に接続します。デフォルト WiFi 名は、Linksysxxxxx および Linksysxxxxx\_5GHz(xxxxx はシリアル番号の下 5 桁)です。WiFi 認証情報は本ルーターの底面に記載されています。同梱されているイーサネット LAN ケーブルを使って接続することもできます。



## ステップ 4:

ブラウザを開き、"https://myrouter.local"(macOS®の場合)または"https://myrouter"(Windows®の場合)と入力します。アドレスバーに"https://192.168.1.1"と入力して[Enter]キーを押しても構いません。

## ステップ 5:

[このソフトウェアを使用するためのライセンス条項に目を通し、承諾しました。]チェックボックスをオンにします。[次へ]をクリックして続行します。

**開始します。**

セットアップウィザードを使用すると、ルーターを構成してインターネットに接続できます。わずか数分でオンラインになります。

このソフトウェアを使用するためのライセンス条項に目を通し、承諾しました。

**i** セットアップウィザードに再度アクセスするには、デバイスを工場出荷時の設定にリセットする必要があります。

[次へ](#)

## ステップ 6:

ルーター管理用パスワードを、パスワードの複雑さの要件に従って独自のものに変更します。これはルーターのセキュリティ向上のために重要なことです。セットアップ完了後にルーター設定へのアクセスが必要になったときのために、このパスワードは書き留めておいてください。**[保存]**をクリックします。

ルーター パスワード

管理者パスワードを作成して、E7350 ルーターの Web ペースの設定ページにアクセスしてください。

ルーター パスワード

.....

パスワードポリシー

- パスワードの長さは10文字以下にはできません。
- パスワードには同じ文字を続けて使用できません。
- スペースはパスワードに使用できません。
- パスワードは以下の4つの複雑性規則に適合していなければならない:
  - 最低でも1つの大文字 (A-Z)。
  - 最低でも1つの小文字 (a-z)。
  - 最低でも1つの数字 (0-9)。
  - 最低でも1つの特殊文字(句読点)

保存

## ステップ 7:

ご利用のインターネットサービスプロバイダー(ISP)から付与されている**接続 ID** と**接続用パスワード**を入力します。**[次へ]**をクリックします。

インターネット セットアップ

DSL のアカウント名とパスワードの情報を以下に入力してください。

アカウント名

パスワード

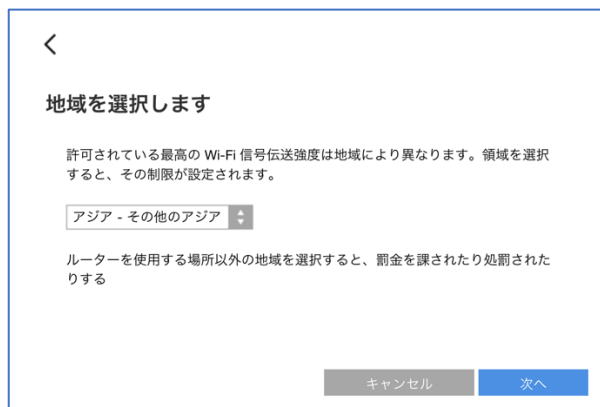
これらの設定は、インターネット サービス プロバイダーにより割り当てられる必要があります。

キャンセル 次へ

注: この画面が表示されない場合は、このままステップ 8 に進んでください。後のステップ 15 以降で、PPPoE 接続のセットアップを手動で行うことができます。

ステップ 8:

お住まいの地域の行政規制に従うために、地域を選択する必要があります。[アジア-その他のアジア]を選択し、ルーターの設定を続行します。[次へ]をクリックします。



地域を選択します

許可されている最高の Wi-Fi 信号伝送強度は地域により異なります。領域を選択すると、その制限が設定されます。

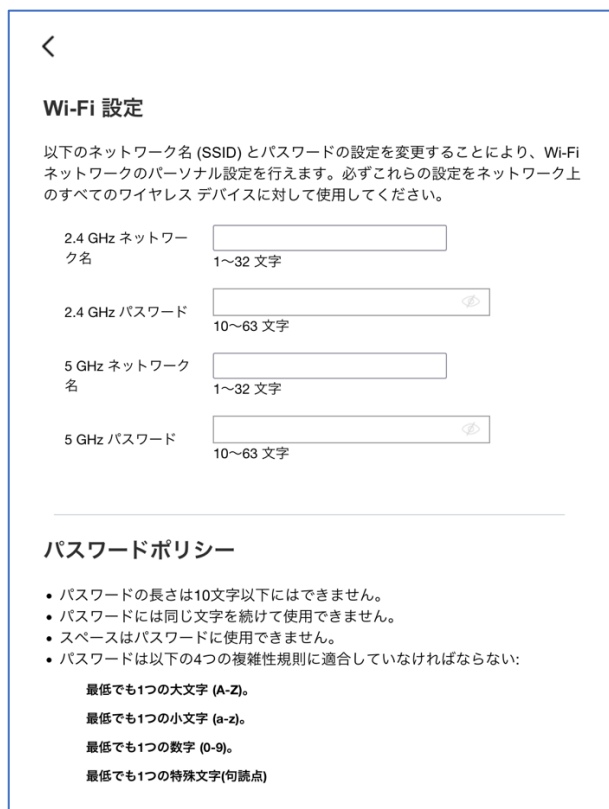
アジア - その他のアジア

ルーターを使用する場所以外の地域を選択すると、罰金を課されたり処罰されたりする

キャンセル 次へ

ステップ 9:

WiFi 名とパスワードを独自のものに変更します。モバイルデバイス、ノート PC、その他の無線デバイスを接続する際は、この WiFi 名とパスワードを使用することになります。[次へ]をクリックします。



Wi-Fi 設定

以下のネットワーク名 (SSID) とパスワードの設定を変更することにより、Wi-Fi ネットワークのパーソナル設定を行えます。必ずこれらの設定をネットワーク上のすべてのワイヤレス デバイスに対して使用してください。

2.4 GHz ネットワーク名 1~32 文字

2.4 GHz パスワード 10~63 文字

5 GHz ネットワーク名 1~32 文字

5 GHz パスワード 10~63 文字

パスワードポリシー

- パスワードの長さは10文字以下にはできません。
- パスワードには同じ文字を続けて使用できません。
- スペースはパスワードに使用できません。
- パスワードは以下の4つの複雑性規則に適合していなければならない:
  - 最低でも1つの大文字 (A-Z)。
  - 最低でも1つの小文字 (a-z)。
  - 最低でも1つの数字 (0-9)。
  - 最低でも1つの特殊文字(句読点)

注: 両方の周波数帯(バンド)で同じネットワーク名とパスワードを使用できます。

ステップ 10:

新しい設定内容を確認し、[保存]をクリックします。



要約

設定の要約はここにあります。後ほど照会できるように書き留めてください。

**Wi-Fi 設定**

2.4 GHz ネットワーク名 **E7350**

2.4 GHz ネットワーク パスワード \*\*\*\*\*

5 GHz ネットワーク名 **E7350**

5 GHz ネットワーク パスワード \*\*\*\*\*

**ルーター パスワード**

パスワード \*\*\*\*\*

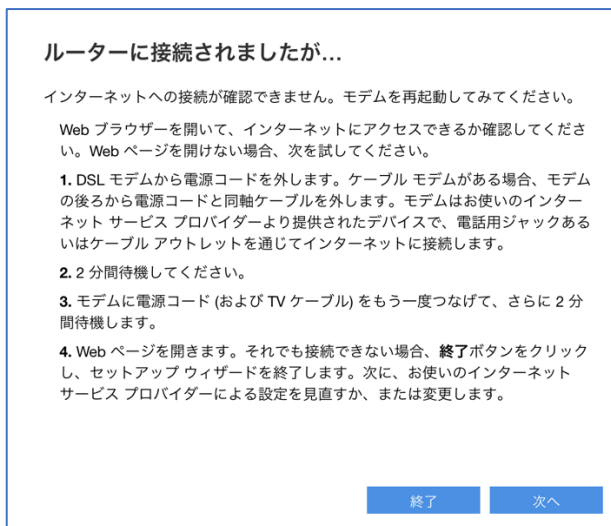
キャンセル 保存

注: 構成の保存とインターネットの検出に時間がかかる場合があります。その場合はそのまま数分間お待ちください。ルーターが ISP の通信方式を検出できない場合、こうした状況が発生することがあります。

以下のメッセージが表示されても、問題はありません。その場合は[終了]をクリックし、

**ステップ 15** に進んでください。

それ以外の場合は、このままセットアップを続行してください。



**ルーターに接続されましたが...**

インターネットへの接続が確認できません。モデムを再起動してみてください。

Web ブラウザーを開いて、インターネットにアクセスできるか確認してください。Web ページを開けない場合、次を試してください。

- DSL モデムから電源コードを外します。ケーブル モデムがある場合、モデムの後ろから電源コードと同軸ケーブルを外します。モデムはお使いのインターネット サービス プロバイダーより提供されたデバイスで、電話用ジャックあるいはケーブル アウトレットを通じてインターネットに接続します。
- 2 分間待機してください。
- モデムに電源コード (および TV ケーブル) をもう一度つなげて、さらに 2 分間待機します。
- Web ページを開きます。それでも接続できない場合、**終了** ボタンをクリックし、セットアップウィザードを終了します。次に、お使いのインターネット サービス プロバイダーによる設定を見直すか、または変更します。

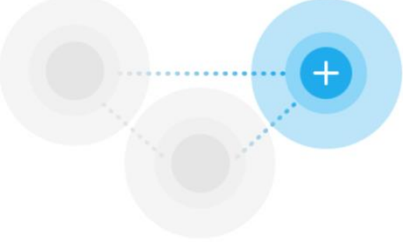
終了 次へ



ステップ 11:

別のルーター(追加する子ノード)がない場合は、[いいえ、完了しました]をクリックします。子ノードの追加はこの後、いつでも行えます。子ノードの追加方法については、[こちら](#)をご覧ください。

別のノードをセットアップしますか?



いいえ、完了しました    はい

ステップ 12:

製品の登録に使用するメールアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

製品を登録してください。

登録すると、重要なセキュリティ更新プログラムを共有できます。お客様のユーザー エクスペリエンスを向上させる製品リコールなど。メールを送信することができます。メールは制限付きのセキュリティ下で管理され、カスタマー サポートの目的のみに使用されます。

メールアドレス

Linksys が、特別なプランや情報の最新情報をメールで送信する場合もあります。弊社が送信するメールの最後に記載されているリンクから、いつでも配信を解除できます。 [ここにある弊社のプライバシー ポリシー](#)をご確認ください。

次へ    スキップ

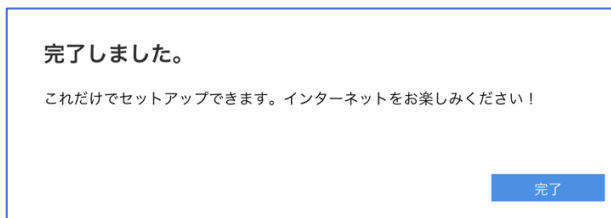
ステップ 13:

[自動]チェックボックスがオンになっていることを確認し、[完了]をクリックします。



ステップ 14:

以上で親ノードの構成が無事に完了しました。[完了]をクリックします。



## Web UI ページで PPPoE 接続を手動でセットアップする

注: ステップ 11~14 を問題なく完了できた場合、ステップ 15 の実行は不要です。

ステップ 15:

ブラウザを開き、"https://myrouter.local"(macOS®の場合)または"https://myrouter"(Windows®の場合)と入力して、ルーターにログインし直します。アドレスバーに"https://192.168.1.1"と入力して[Enter]キーを押しても構いません。

セットアップウィザードの実行時に作成したパスワードを入力します(ステップ 6 を参照)。



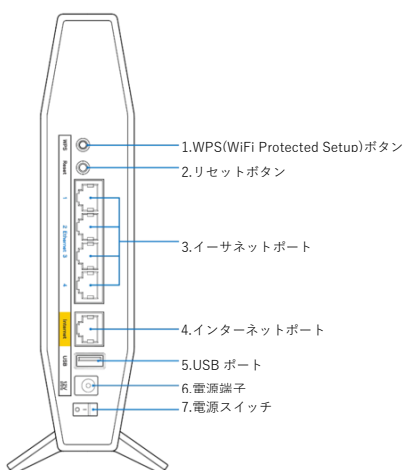
ステップ 16:

[コンフィギュレーション] > [接続性] > [WAN セットアップ] を選択します。[PPPoE] のラジオボタンを選択し、ISP から付与されている接続 ID を [ユーザー名] に、接続用パスワードを [パスワード] に入力します。[保存] をクリックします。

The screenshot shows the Linksys configuration interface for the WAN setup. The page title is "WAN セットアップ" (WAN Setup) under the "インターネット セットアップ" (Internet Setup) section. The "PPPoE" radio button is selected. The "ユーザー名" (Username) field contains "testing" and the "パスワード" (Password) field is masked with dots. The "サービス名 (オプション)" (Service Name (Optional)) field is empty. Under "接続を維持: リダイヤル間隔" (Maintain Connection: Redial Interval), the "30" second interval is selected. The "オプションの設定" (Optional Settings) section includes fields for "ホスト名" (Host Name), "ドメイン名" (Domain Name), "MTU" (set to "自動"/Automatic), and "サイズ" (Size, set to "1500"). At the bottom, there are "保存" (Save) and "キャンセル" (Cancel) buttons. The top right corner of the interface indicates the firmware version is 1.1.00 and the model is AX1800 Wi-Fi Router E7350.

注: インターネット接続が検出されると、ルーター前面の "INTERNET" インジケータ LED が青色に点灯します。

セットアップウィザードの実行が再び必要になった場合は、ルーター背面のリセットボタンを 10 秒間押し続けて、ルーターを工場出荷時の状態にリセットしてください。



## Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを親ノードとしてブリッジ(アクセスポイント)モードでセットアップする

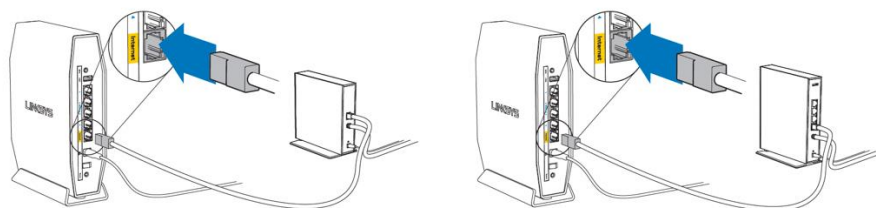
ここでは、Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを親ノードとしてセットアップして構成する方法を説明します。

始める前に:

- セットアップを初めて行う場合、組み込みのセットアップウィザードを使用して本ルーターを構成する必要があります。
- 親ノードとは、モデム(または ONU)と接続された Linksys E7350 です。
- 子ノードとは、WiFi ネットワークを拡大するために使用する追加の Linksys E7350 です。
- 本ルーターのセットアップには、コンピューター、タブレット、モバイルデバイスなどの無線デバイス、またはイーサネット(有線)接続のコンピューターのどちらでも使用できます。
- 本ルーターの底面に記載されているデフォルトの WiFi 名とパスワードをメモしておきます。

ステップ 1:

Linksys E7350 をモデム(ONU)またはモデムルーター(HWG)と接続します(以下の図を参照)。



A

または

B

モデム(ONU)

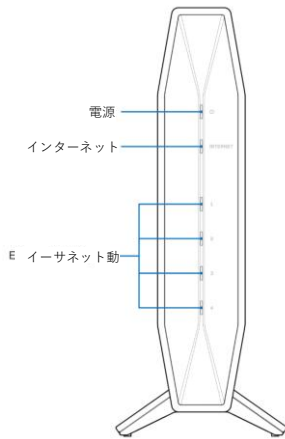
同梱されているイーサネットケーブルの片方の端を新しいルーターの黄色のイーサネットポートにつなげます。モデム(ONU)の場合は、もう一方の端をモデムのイーサネット(LAN)ポートにつなげます。

モデムルーター(HGW)

同梱されているイーサネットケーブルの片方の端を新しいルーターの黄色のイーサネットポートにつなげます。モデムルーター(HGW)の場合は、もう一方の端を空いてい

## ステップ 2:

本ルーターを電源につなぎ、電源スイッチをオンにします。電源インジケータ-LED が青色に点灯するまで待ちます。



## ステップ 3:

本ルーターのデフォルト WiFi 名に接続します。デフォルト WiFi 名は、Linksysxxxxx および Linksysxxxxx\_5GHz(xxxxx はシリアル番号の下 5 桁)です。WiFi 認証情報は本ルーターの底面に記載されています。同梱されているイーサネット LAN ケーブルを使って接続することもできます。

Wireless Network 無線ネットワーク名 ネットワーク (SSID)	LinksysXXXXX	Serial No.	 XXX1060MYXXXX1
Wireless Password 無線ネットワークパスワード パスワード	XXXXXXXXXX	MAC Address	 XXXXXXXXXXXX
WPS	XXXX-XXXX		

## ステップ 4:

ブラウザを開き、"https://myrouter.local"(macOS® の場合)または"https://myrouter"(Windows® の場合)と入力します。アドレスバーに"https://192.168.1.1"と入力して[Enter]キーを押しても構いません。

## ステップ 5:

[このソフトウェアを使用するためのライセンス条項に目を通し、承諾しました。]ラジオボタンをオンにします。[次へ]をクリックして続行します。

**始めましょう**

セットアップウィザードを使用すると、ルーターを構成してインターネットに接続できます。わずか数分でオンラインになります。

このソフトウェアを使用するためのライセンス条項に目を通し、承諾しました。

**!** セットアップウィザードに再度アクセスするには、デバイスをファクトリ出荷時の設定にリセットする必要があります。

[次へ](#)

## ステップ 6:

ルーター管理用パスワードを、パスワードの複雑さの要件に従って独自のものに変更します。これはルーターのセキュリティ向上のために重要なことです。セットアップ完了後にルーター設定へのアクセスが必要になったときのために、このパスワードは書き留めておいてください。[次へ]をクリックします。

ルーター パスワード

管理者パスワードを作成して、E7350 ルーターの Web ベースの設定ページにアクセスしてください。

ルーター パスワード

パスワードポリシー

- パスワードの長さは10文字以下にはできません。
- パスワードには同じ文字を続けて使用できません。
- スペースはパスワードに使用できません。
- パスワードは以下の4つの複雑性規則に適合していなければならない:
  - 最低でも1つの大文字 (A-Z)。
  - 最低でも1つの小文字 (a-z)。
  - 最低でも1つの数字 (0-9)。
  - 最低でも1つの特殊文字(句読点)

保存

## ステップ 7:

お住まいの地域の行政規制に従うために、伝送領域を選択する必要があります。[Asia-Rest of Asia](アジア-その他のアジア)を選択し、ルーターの設定を続行します。[次へ]をクリックします。

地域を選択します

許可されている最高の Wi-Fi 信号伝送強度は地域により異なります。領域を選択すると、その制限が設定されます。

アジア - その他のアジア

ルーターを使用する場所以外の地域を選択すると、罰金を課されたり処罰されたりする

キャンセル 次へ

ステップ 8:

WiFi 名とパスワードを独自のものに変更します。モバイルデバイス、ノート PC、その他の無線デバイスを接続する際は、この WiFi 名とパスワードを使用することになります。[次へ]をクリックします。

<

### Wi-Fi 設定

以下のネットワーク名 (SSID) とパスワードの設定を変更することにより、Wi-Fi ネットワークのパーソナル設定を行えます。必ずこれらの設定をネットワーク上のすべてのワイヤレス デバイスに対して使用してください。

2.4 GHz ネットワーク名  1~32 文字

2.4 GHz パスワード  10~63 文字

5 GHz ネットワーク名  1~32 文字

5 GHz パスワード  10~63 文字

---

### パスワードポリシー

- パスワードの長さは10文字以下にはできません。
- パスワードには同じ文字を続けて使用できません。
- スペースはパスワードに使用できません。
- パスワードは以下の4つの複雑性規則に適合していなければならない:
  - 最低でも1つの大文字 (A-Z)。
  - 最低でも1つの小文字 (a-z)。
  - 最低でも1つの数字 (0-9)。
  - 最低でも1つの特殊文字(句読点)

注: 両方の周波数帯(バンド)で同じネットワーク名とパスワードを使用できます。

ステップ 9:

設定内容を確認し、[次へ]をクリックします。

<

### 要約

設定の要約はここにあります。後ほど照会できるように書き留めてください。

---

#### Wi-Fi 設定

2.4 GHz ネットワーク名 **E7350**

2.4 GHz ネットワーク パスワード **\*\*\*\*\***

5 GHz ネットワーク名 **E7350**

5 GHz ネットワーク パスワード **\*\*\*\*\***

#### ルーター パスワード

パスワード **\*\*\*\*\***

キャンセル 保存

ステップ 10:

別のルーター(追加する子ノード)がない場合は、[いいえ、完了しました]をクリックします。子ノードの追加はこの後、いつでも行えます。子ノードの追加方法については、[こちら](#)をご覧ください。

別のノードをセットアップしますか?



はい      いいえ、完了します。

ステップ 11:

製品の登録に使用するメールアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

**製品の登録**

登録すると、重要なセキュリティ更新プログラムを共有できます。製品リコールなど、お客様のユーザー エクスペリエンスを向上させる活動。メールを送信いただくだけです。メールは制限付きのセキュリティ下で管理され、カスタマーサポートの目的にのみ使用されます。

メールアドレス

Linksys から特別なプランなどの最新情報をメールで送信いただいても構いません。弊社が送信するメールの最後に記載されているリンクから、いつでも配信を解除できます。こちらから弊社のプライバシー ポリシーをご確認ください。

次へ      スキップ



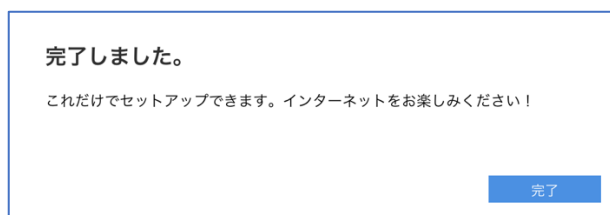
ステップ 12:

[自動]チェックボックスがオンになっていることを確認し、[完了]をクリックします。



ステップ 13:

以上で親ノードの構成が無事に完了しました。[完了]をクリックします。



ステップ 14:

ブラウザを開き、"https://myrouter.local"(macOS®の場合)または"https://myrouter"(Windows®の場合)と入力して、ルーターにログインし直します。アドレスバーに"https://192.168.1.1"と入力して[Enter]キーを押しても構いません。

セットアップウィザードの実行時に作成したパスワードを入力します(ステップ 6 を参照)。



ステップ 15:

[コンフィギュレーション] > [接続性] > [WAN セットアップ] を選択します。ラジオボタンの [ブリッジモード] を選択し、[保存] をクリックします。

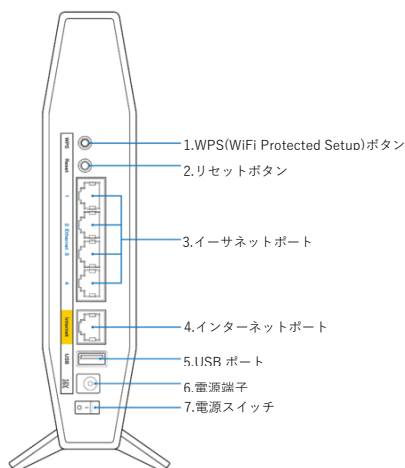


注: ブリッジモードで動作する E7350 の適切な IP アドレスがわかる場合は、その IP アドレスを指定することができます。それ以外の場合は、[IP アドレスを自動で取得] を選択します。

ブリッジモードの設定を適用するために、ルーターは再起動します。

注: インターネット接続が検出されると、ルーター前面の "INTERNET" インジケータ LED が青色に点灯します。

セットアップウィザードの実行が再び必要になった場合は、ルーター背面のリセットボタンを 10 秒間押し続けて、ルーターを工場出荷時の状態にリセットしてください。



## Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを親ノードとして DHCP(デフォルト)モードでセットアップする

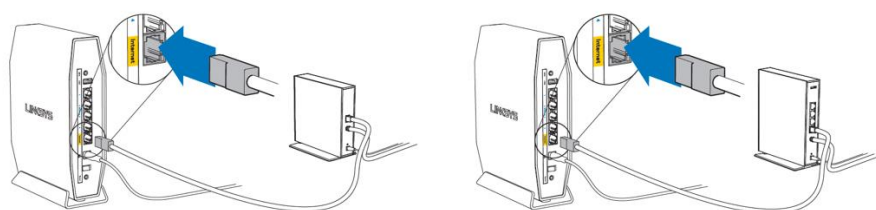
ここでは、Linksys E7350 WiFi 6 ルーターを親ノードとしてセットアップして構成する方法を説明します。

始める前に:

- セットアップを初めて行う場合、組み込みのセットアップウィザードを使用して本ルーターを構成する必要があります。
- 親ノードとは、モデム(または ONU)と接続された Linksys E7350 です。
- 子ノードとは、WiFi ネットワークを拡大するために使用する追加の Linksys E7350 です。
- 本ルーターのセットアップには、コンピューター、タブレット、モバイルデバイスなどの無線デバイス、またはイーサネット(有線)接続のコンピューターのどちらでも使用できます。
- 本ルーターの底面に記載されているデフォルトの WiFi 名とパスワードをメモしておきます。

ステップ 1:

Linksys E7350 をモデム(ONU)またはモデムルーター(HWG)と接続します(以下の図を参照)。



A

または

B

### モデム(ONU)

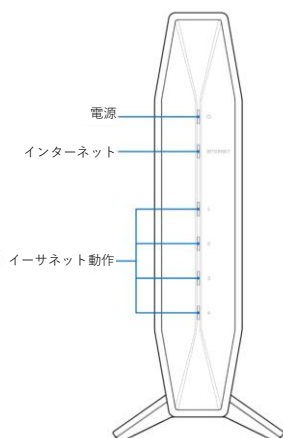
同梱されているイーサネットケーブルの片方の端を新しいルーターの黄色のイーサネットポートにつなげます。モデム(ONU)の場合は、もう一方の端をモデムのイーサネット(LAN)ポートにつなげます。

### モデムルーター(HGW)

同梱されているイーサネットケーブルの片方の端を新しいルーターの黄色のイーサネットポートにつなげます。モデムルーター(HGW)の場合は、もう一方の端を空いてい

### ステップ 2:

本ルーターを電源につなぎ、電源スイッチをオンにします。電源インジケータ-LED が青色に点灯するまで待ちます。



### ステップ 3:

本ルーターのデフォルト WiFi 名に接続します。デフォルト WiFi 名は、**Linksysxxxxx** および **Linksysxxxxx\_5GHz**(xxxxxx はシリアル番号の下 5 桁)です。WiFi 認証情報は本ルーターの底面に記載されています。同梱されているイーサネット LAN ケーブルを使って接続することもできます。

Wireless Network 無線ネットワーク名 ネットワーク (SSID)	LinksysXXXXX	Serial No.	XXXXXXXXXXXX XXX1060MYXXXX1
Wireless Password 無線ネットワーク パスワード	XXXXXXXXXX	MAC Address	XXXXXXXXXXXX
WPS	XXXX-XXXX		

### ステップ 4:

ブラウザを開き、"https://myrouter.local"(macOS®の場合)または"https://myrouter"(Windows®の場合)と入力します。アドレスバーに"https://192.168.1.1"と入力して[Enter]キーを押しても構いません。

## ステップ 5:

[このソフトウェアを使用するためのライセンス条項に目を通し、承諾しました。]チェックボックスをオンにします。[次へ]をクリックして続行します。

**開始します。**

セットアップウィザードを使用すると、ルーターを構成してインターネットに接続できます。わずか数分でオンラインになります。

このソフトウェアを使用するためのライセンス条項に目を通し、承諾しました。

**i** セットアップウィザードに再度アクセスするには、デバイスを工場出荷時の設定にリセットする必要があります。

[次へ](#)

## ステップ 6:

ルーター管理用パスワードを、パスワードの複雑さの要件に従って独自のものに変更します。これはルーターのセキュリティ向上のために重要なことです。セットアップ完了後にルーター設定へのアクセスが必要になったときのために、このパスワードは書き留めておいてください。[保存]をクリックします。

←

**ルーター パスワード**

管理者パスワードを作成して、E7350 ルーターの Web ベースの設定ページにアクセスしてください。

ルーター パスワード

.....

**パスワードポリシー**

- パスワードの長さは10文字以下にはできません。
- パスワードには同じ文字を続けて使用できません。
- スペースはパスワードに使用できません。
- パスワードは以下の4つの複雑性規則に適合していなければならない:
  - 最低でも1つの大文字 (A-Z)。
  - 最低でも1つの小文字 (a-z)。
  - 最低でも1つの数字 (0-9)。
  - 最低でも1つの特殊文字(句読点)

[保存](#)

ステップ 7:

お住まいの地域の行政規制に従うために、地域を選択する必要があります。[アジア-その他のアジア]を選択し、ルーターの設定を続行します。[次へ]をクリックします。

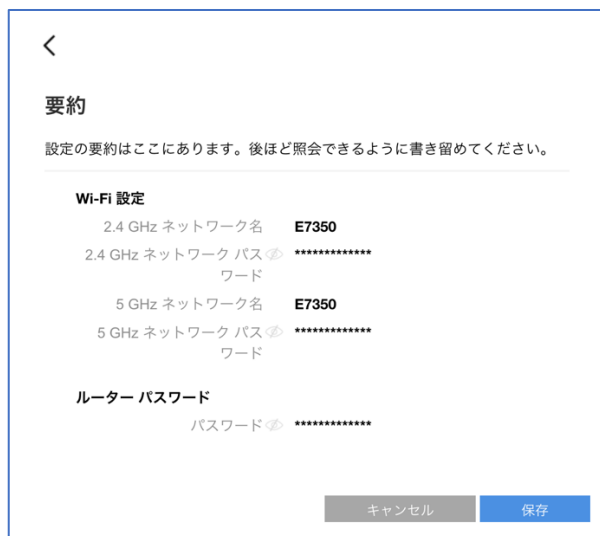
ステップ 8:

WiFi 名とパスワードを独自のものに変更します。モバイルデバイス、ノート PC、その他の無線デバイスを接続する際は、この WiFi 名とパスワードを使用することになります。[次へ]をクリックします。

注: 両方の周波数帯(バンド)で同じネットワーク名とパスワードを使用できます。

ステップ 9:

新しい設定内容を確認し、[保存]をクリックします。



要約

設定の要約はここにあります。後ほど照会できるように書き留めてください。

**Wi-Fi 設定**

2.4 GHz ネットワーク名 **E7350**

2.4 GHz ネットワーク パスワード \*\*\*\*\*

5 GHz ネットワーク名 **E7350**

5 GHz ネットワーク パスワード \*\*\*\*\*

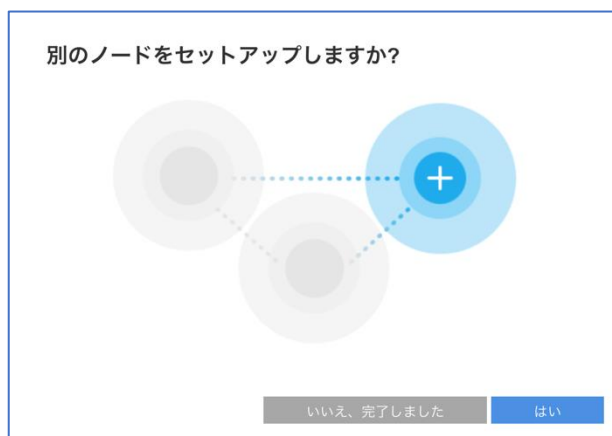
**ルーター パスワード**

パスワード \*\*\*\*\*

キャンセル 保存

ステップ 10:

別のルーター(追加する子ノード)がない場合は、[いいえ、完了しました]をクリックします。子ノードの追加はこの後、いつでも行えます。子ノードの追加方法については、[こちら](#)をご覧ください。



別のノードをセットアップしますか?

いいえ、完了しました はい

### ステップ 11:

製品の登録に使用するメールアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

**製品を登録してください。**

登録すると、重要なセキュリティ更新プログラムを共有できます。お客様のユーザー エクスペリエンスを向上させる製品リコールなど。メールを送信することができます。メールは制限付きのセキュリティ下で管理され、カスタマー サポートの目的のみに使用されます。

メールアドレス

Linksys が、特別なプランや情報の最新情報をメールで送信する場合もあります。弊社が送信するメールの最後に記載されているリンクから、いつでも配信を解除できます。 [ここにある弊社のプライバシー ポリシー](#)をご確認ください。

### ステップ 12:

[自動]チェックボックスがオンになっていることを確認し、[完了]をクリックします。

**おめでとうございます。**

インターネットに接続されました。

ファームウェアの更新:

自動

現在のファームウェアのバージョン: 1.1.00.033

最新のファームウェアのバージョン: 最新の状態

### ステップ 13:

以上で親ノードの構成が無事に完了しました。[完了]をクリックします。

**完了しました。**

これだけでセットアップできます。インターネットをお楽しみください！



ステップ 14:

ブラウザを開き、"https://myrouter.local"(macOS®の場合)または"https://myrouter"(Windows®の場合)と入力して、ルーターにログインし直します。アドレスバーに"https://192.168.1.1"と入力して[Enter]キーを押しても構いません。

セットアップウィザードの実行時に作成したパスワードを入力します(ステップ 6 を参照)。



ステップ 15:

[コンフィギュレーション] > [接続性] > [WAN セットアップ]を選択します。ラジオボタンの[ブリッジモード]を選択し、[保存]をクリックします。

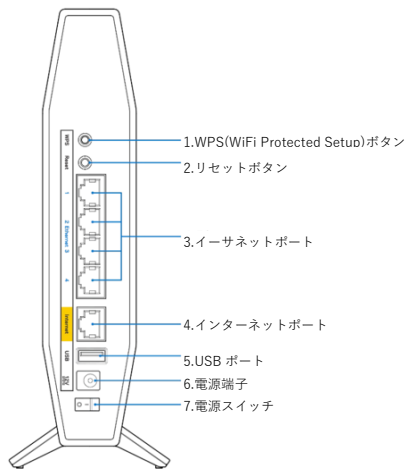


注: ブリッジモードで動作する E7350 の適切な IP アドレスがわかる場合は、その IP アドレスを指定することができます。それ以外の場合は、[IP アドレスを自動で取得]を選択します。

ブリッジモードの設定を適用するために、ルーターは再起動します。

注: インターネット接続が検出されると、ルーター前面の"INTERNET"インジケータ LED が青色に点灯します。

セットアップウィザードの実行が再び必要になった場合は、ルーター背面のリセットボタンを 10 秒間押し続けて、ルーターを工場出荷時の状態にリセットしてください。



## Linksys テクニカルサポートの連絡先情報

何かお困りの点がありましたら、以下にお問い合わせください。いつでも当社の専門家が電話またはチャットでご対応いたします。

### 日本語での電話サポート:03-6851-4359

月曜～金曜 9:00～17:00

ライブチャット(英語のみ): [こちらをクリックしてください。](#)

平日だけでなく土曜・日曜も 24 時間ご利用いただけます。